トップメッセージ TOP Message







10年の振り返り

アイフルグループのこの10年間はADRの終了を皮切りに、再成長に向けて舵を切ってまいりました。 積極的な宣伝投資により、アイフルの新規獲得件数は、2014年から3倍となり、最大の経営課題で あった利息返還請求も大きく減少し、外部格付けの向上やグループ会社の拡大など、当社グループ を取り巻く環境は大きく改善しております。

2024年3月期においても、好調なマーケットを背景とした宣伝投資によって、営業債権残高・トップラインは2桁成長を維持し、それに伴い中期的な利益水準も向上しております。

中期経営計画2024

アイフルグループは2024年3月期の業績とマーケットの状況をもとに、2027年3月期を最終年度とする中期経営計画を2024年5月に公表しております。成長シナリオや資本政策など、アイフルグループの中長期的なビジョンを掲げ、新たな成長ステージに向けて歩み始めました。

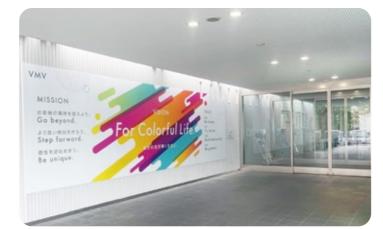


中期経営計画のテーマ「Try Harder 〜あらたな成長ステージに向けて〜」のもと、人員構成の見直しや内製化を通じたコスト構造改革による利益水準の引き上げM&Aなどの成長投資への注力による持続的な成長を図ってまいります。

ステークホルダーの皆さまへ

当社グループの長期VISION「IT企業への変革 ~100年続く企業を目指す~」の実現に向けて、まずは中期経営計画の達成に尽力し、企業価値向上を実現してまいります。今後ともステークホルダーの皆様にはより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年9月 代表取締役社長 社長執行役員 福田 光秀



2

財務・非財務ハイライト Highlight

財務ハイライト

営業債権残高(億円)

2023/3 期 2024/3 期 10,159 ▶ 11,789

2桁成長維持

営業収益 (億円)

2023/3期 **2024/3**期 **1,441 ▶ 1,631**

営業貸付金利息954億信用保証収益194億信用購入あっせん収益262億

経常利益(億円)

2023/3 期 2024/3 期 244 ▶ 220

親会社に帰属する純利益(億円)

2023/3 期 2024/3 期 223 ▶ 218

財	務指標(%)	
	2023/3 期	2024/3 期
ROA	2.4	1.9
ROE	13.5	11.7
自己資本比率	16.4	15.6

外音	B格付け(J	CR、R&I)	
	2023/3 期	2024/3 期	
JCR	BBB+	Α-	
R&I	BBB-	BBB	

非財務ハイライト

有給取得率(%)

2023/3 期 2024/3 期 77.8 ▶ 74.3

育児休業取得率 (%)

2023/3 期 **2024/3** 期 **68.7** ▶ **98.3**

男性の育児休業取得率 (%)

2023/3 期 **2024/3** 期 **63.6** ▶ **96.7**

正社員に占める女性の比率(%)

 2023/3 期
 2024/3 期

 27
 30

正社員の採用に占める女性の比率 (%)

2023/3 期 **2024/3** 期 **36 43**

外国籍社員数(現地採用含む)

 2023/3 期
 2024/3 期

 928人
 993人

価値創造に向けての取り組み・歩み History of value creation



 $\mathbf{6}$

価値創造に向けての取り組み

外部 環境

気候変動

環境負担への対応

日本の人口 労働人口減少

デジタル技術 革新の波

キャッシュレス 決済の拡大

ASEAN 諸国の 経済成長

資本

財務資本	人的貧本	聚 這 貸 本	知的資本	在云舆係資本
<営業債権残高> 11,789億円 (YoY +16%) <自己資本> 1,979億円 (YoY +12%)	<従業員> 連結 3,716人 <it人材> 247人</it人材>	<リアル>・支店 ・無人店 ・コールセンター <web> ・アプリ ・WEBサイト および申込 フォーム</web>	ファイナンスにおいてのリスクを見極める力 IT化推進によるデジタル化・内製化 デザイン力・データ分析力	国内外におけるtoC 及びtoBの幅広い 顧客基盤 業務提携や協業に よる信頼関係を構 築したビジネスパー トナー 金融教育やハッカソンを通じた地域社 会などのステークホ
				,,,

自社の強み

独立系

成長性

株主

事業多角化 M&A IT化 効率化

提供 価値

国内外のお客様 に期待を超える サービス・商品 の提供

お客様

持続的な利益成 長・株主還元企 業価値の向上

社会

金融サービスの 提供を通じた中 小企業・個人事 業者支援

従業員

日々の業務を通 じて生きがいを 実感できる職場 の実現

目指す 社会

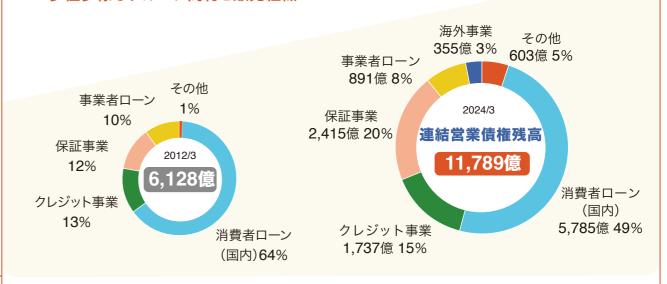
「自分の色が輝く社会」を実現し、ストレスのない社会を目指します。

For Colorful Life.

自分の色が輝く社会に

アイフルの強み

- 営業債権残高2桁成長
- ・ プロダクトの多様化やM&Aによる事業ポートフォリオの分散
- 内製化の推進によるコスト削減
- 多種多様なグループ商材と販売組織



事業多角化により、12年間で消費者向けローン事業の占有率は49%まで低下し、 営業債権残高は92%増の1兆1789億円へ拡大

アイフルグループ



8 9

価値創造の歩み





2001年

現AGビジネスサポート株式会社 (事業者ローン)を設立

現ライフカード株式会社 (クレジットカード)の完全子会社化

現AG債権回収株式会社 (サービサー)を設立

1994年

1967年

現コンタクト センターの開設

現会長の福田吉孝が 個人経営の消費者金融業 (現アイフル株式会社)を創業





2004年

現AGキャピタル株式会社 (ベンチャーキャピタル)の 完全子会社



AG Capital

2014年

現AGペイメントサービス 株式会社(個別信用購入 あっせん)の事業を開始

タイ王国にてAIRA&AIFUL **Public Company Limited** (海外事業)を設立



2020年

2023年

株式会社FPC(ペット保険)の 完全子会社化

セブンシーズ株式会社、 株式会社Liblock(SES)の 完全子会社化







2024年

(SES)の完全子会社化

ビットキャッシュ株式会社 (前払い式電子マネー)の 完全子会社化



中期経営計画2024の公表

現社長の福田光秀が社長就任

(診療報酬担保等ローン)を設立

AG Medical

現AGメディカル株式会社

株式会社セイロップ



株式会社セイロップ

1995年

自動契約受付機 「お自動さん」の導入

1985年

スコアリングシステム (自動与信システム)の導入